



# 梅田中だより <第10号> 12月

## 自分との勝負だ! マラソン大会!!



【校内マラソン大会女子の部】



【校内マラソン大会男子の部】

11月2日(水)絶好のマラソン日和の中、PTA役員及び地域の方々のご協力と応援をいただきながら梅田中学校マラソン大会が開催されました。マラソン大会は体育の授業で取り組んだ持久走の総仕上げです。走るコースは、体育の授業の中で何回も走っており、記録も取っています。そのため、他の生徒との勝負で

あると同時に、自分自身の記録との勝負でもあります。マラソンは誰もが苦しきを感じ、苦手とするものかと思えます。苦しい中でいかに自分自身の力を出し切るかが勝負の分かれ目です。

どの生徒も苦しい顔でゴールをしながらも、その表情には充実感があふれていました。自分の力を出し切れたのではないのでしょうか?特に3年生は部活動を引退してから時間も過ぎ、苦しいマラソン大会だったと思いますが、よく頑張ってくれました。

### 《 マラソン大会入賞者 》

	男 子	女 子
優 勝	くん(1 A)	さん(1 A)
準優勝	くん(3 A)	さん(1 A)
3 位	くん(2 A)	さん(2 A)
4 位	くん(3 A)	さん(2 A)
5 位	くん(1 A)	さん(2 A)
6 位	くん(2 A)	さん(2 A)

## 2年生 軽井沢方面への校外学習



【旧軽井沢での記念撮影】

2年生が11月10日(木)に、軽井沢方面へ校外学習に出かけました。午前中は、日本のポンペイと呼ばれている鎌原観音堂で、ガイドさんから浅間山噴火(天明の大噴火)の様子等について説明をいただきました。その後、鬼押し出し園で浅間山の麓に広がる溶岩が流れ出た跡を見学し、自然災害の恐ろしさについて実感することができました。午後は旧軽井沢へ移動し、班ごとに分かれて昼食及び散策しました。充実した一日を過ごすことができました。

## 思春期の接し方 聞き介入？

10月に行われたPTA家庭学級では、「とうとう思春期がやって来た！親としてどうすればよいのか？」という題で、市内公立小中学校スクールカウンセラーの川和玲子先生からお話をいただきました。

### 危機介入 = 聞き介入

思春期を迎えた子どもたちは、それまでと言動や反応が変わり、親としてとまどう場面も出てくると思いますが、それは大人への階段を登っている証拠でもあります。しかし、お子さんにイライラや不眠など、何か変だなあ、ちょっとおかしいなあと感じることがあったら「危機介入＝聞き介入」が必要です。

「聞き介入」とは、子どもの抱える「怒り・辛さ・寂しさ・不満など」のマイナス要素を、まずは聞いてあげることです。子ども自身が「話を聞いてもらえた。」「わかってもらえた。」と実感できると気持ちが落ち着き、変わるものです。また、自分の「つらさ」を言葉にして吐き出せることも大切なことですし、自分の気持ちが言葉で表現できると、自分の気持ちが整理できます。もし、話を聞いている途中で何かアドバイスをしたくなくても、ぐっと我慢です。話を最後まで聞いてください。

(講師の川和先生は「①話を聞きアドバイスをしな。②アドバイスを  
するのなら、「あなたはどうしたいの？」と聞いてから。③他との比較は絶対にしない。今できていることを承認していくのがよい。」と言っています。)

### 《地区別人権協議会が開催されました！》



【1年A組 学活の授業】

11月25日(金)に地区別人権教育研究協議会が梅田中学校を会場に開催されました。桐生市内及び東毛地区内の人権教育担当の先生方が集まり、梅田中学校の人権教育の取組についての発表と人権に関する授業公開(1年A組 学活「外国人とより良い関係をつくるには」、2年A組 道徳「注文を間違える料理店」、3年A組 道徳「無実の罪」)を行いました。どの生徒も一生懸命に授業に取り組み、参加者からは「中学生がこんなに発言するとは思わなかった。」といった感想も聞かれました。生徒の皆さんが一生懸命に取り組んでくれたこともあり、とても有意義な研究協議会となりました。

### 思春期の子をやる気にさせるための

「4ないルール」 小中学校SC 川和玲子

#### 1, アドバイスをしない。

「自立を念頭に、自己決定が大事。」

#### 2, 成績の評価、他人と比較しない。

「行動(よい点・できていること)を承認する。」

#### 3, 近づきすぎない、見守る。

「自分の親友のように接する。」

#### 4, 危機感をあおらない。

「将来の出口、未来の光を見せる。」

○原因より解決策を見つける。

○目標があることを喜び、ほめる。

### 《 第2回避難訓練実施 》

11月17日(木)2学期末試験終了後に、避難訓練を実施しました。大地震の後に火災が発生せするという設定です。また、桐生市消防第14分団の方々に来ていただき、分団長からは、「地震で避難するときには、①頭を守りながら建物から離れる。②火災が発生した場合には、一酸化炭素中毒に注意が必要。煙を吸わないように気をつけて。」というお話がありました。



【避難訓練後の講評】

### 《 表彰関係 》

善行少年表彰(学警連)	3年	くん
善行少年表彰(日本善行会)	3年	さん
桐生市人権作文コンテスト		
桐生市人権擁護委員協議会長賞	3年	さん

